

今回は、1年生のオンラインセミナー 第14回 の報告です。

◇ オンラインセミナー「関ジモト大学online」

今年度は、例年夏休みに行っているフィールドワークに代わって、オンラインセミナーを実施しました。関市で活躍する「せき・まちづくりNPOぶうめらん」が主催する「関ジモト大学online」の場をお借りして、関市内の27企業と生徒が意見交換を行い、各企業のSDGsに関わる取り組みについての話を聞きました。

各企業と生徒の交流について、第1回から第27回までシリーズで紹介します。

◇ 第14回 株式会社 大野ナイフ製作所

◆ 刃物製造業

大正5年(1916年)に創業以来、培ってきた様々な伝統技術と職人技の蓄積に最先端のテクノロジーを融合させ、最高級の美術工芸品ともいえる「魅せる包丁」を開発・製造、主に欧米の富裕層向けを狙った包丁を製造。



SDGs	取組中	5 ジェンダー平等を 実現しよう 	8 働きがいも 経済成長も 	今後の 目標	4 質の高い教育を みんなに
------	-----	-------------------------	----------------------	-----------	-----------------------

◆ オンラインセミナー「関ジモト大学online」に参加した生徒の感想

- ・ IOTとロボット化に驚きました。以前は、作業をしている人が、どこまで進んでいるかを確認するためにわざわざ見に行っていたが、IOTを導入して「見える化」したことによって、作業を止めることなく進めることができるようになったそうです。また、ロボットを導入したことによって大量生産が可能になり、機械による自動化と手作業による職人技を融合させていることがすごいと思いました。
- ・ 私は、新しいことに挑戦していることに驚きました。高級なナイフを買うという文化のないヨーロッパで、売れるようにするために「魅せるナイフ」ということをモットーに売り出して、成功しました。新しい文化を作ったことは素晴らしいと思います。また、ロボットと人のハイブリットでより良い製品を作るという取り組みも新しいと感じました。関の刃物といえば「伝統」というイメージが大きかったですが、考えは大きく変わりました。
- ・ ハイテク化を進めていて、自動化ロボットの導入や、モニターで作業の進捗・時間等を表示したり、ラインワークスで現状把握を速くしたりできることがすごいと思いました。
- ・ 包丁を作るには90~120もの多くの工程があることに驚いた。